

自動車総連・積立年金

「秋募集」、はじまります!!

加入は早く、
若いうちに!

自動車総連 積立年金

(全日本自動車産業労働組合総連合会)

口数増やしてゆとり
あるシルバーライフを!

1 「一時払退職後終身保険コース」

一般積立コースご加入者は、積立満了時に積立金を活用して一時払退職後終身保険へ加入することが出来ます。(要告知)

2 目的に合わせた2コース

個人年金保険料控除の対象となる「個人年金コース」と、途中払い出しが可能な「一般積立コース」

3 自由に選べる積立額

月々3千円から、ボーナスは3万円からOK
●積立途中でも口数を自由に変更出来ます。
(年2回→春・秋の加入者受付期間中)
●年2回一時積増が出来、年金原資を大きく出来ます。

4 予定利率は年1.25%*

*予定利率については将来変更される場合があります。制度内容等詳細はパンフレットをご覧ください。

新規加入お申込受付 2012年 4/2~5/18 9/3~10/31 の年2回 お申込は…所属組合役員まで
加入日(責任開始日)2012年8月1日 加入日(責任開始日)2013年2月1日

お申込書のご請求・お問い合わせは

明治安田生命自動車総連担当 受付時間 9:00~17:00(土日祝日を除く)

0120-827-050

携帯電話・一部の固定電話からは繋がりません。その場合は 03-3216-9864 におかけください。(有料)

自動車総連……………03-3434-7641

【既に参加いただいている皆様へのご連絡】

引越しの際は、積立年金の住所変更手続きを忘れずをお願い致します。お手続きは上記連絡先まで!



MY-A-12-他-001771

申込み受付期間

新規加入の方

2012年9月3日(月)~10月26日(金) [スズキ労連必着]

口数変更の方

2012年9月3日(月)~11月8日(木) [スズキ労連必着]

詳しくは、パンフレットをご覧ください。(組合事務所・書記局にあります!)



どんなことでもOK!
お気軽にご相談下さい。

こんな時にはお電話を!

0120-500-073

*月~金 9:00~19:00
相談無料・秘密厳守

【スズキ労連】 機関誌に対するご意見・ご要望が
ございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail: yhori@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇

<http://saw.gogo.tc/>

*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関紙
共通パスワード… saw2007



2012年8月 第364号

スズキ労連

2012年
8月号

静岡県浜松市南区増楽町20
電話(053)447-3079
スズキ関連労働組合連合会

発行人 古川正明
編集人 堀 吉伸

第1回 写真コンテスト 入賞作品 発表!



ご応募ありがとうございました!

本年より、スズキ労連文化活動の一環として始まった「写真コンテスト」。

第一回目のテーマを『絆(きずな)』とし募集をさせていただきました。20作品の応募があり、厳選なる審査の結果、下記13作品が入賞しました!なお、今回入選された13作品は、9月16日(日)にグランドホテル浜松にて開催される「スズキ労連 第41回定期大会」の会場入口にて展示させていただきます。来期も引き続きテーマを決め開催していく予定ですので、皆さまのご応募をお待ちしています。

【最優秀賞】(1点)



「春色の風と」 スズキ販売労働組合 自販福岡支部 仁田原 和也さん

【優秀賞】(3点)



「家族の笑顔(風評被害に負けないぞ)」
スズキ販売労働組合 自販福島支部 長谷川 直孝さん



「人と犬」
スズキ販売労働組合 自販徳島支部 谷口 健二さん



「親子の絆」
スズキ労働組合 高塚支部 鈴木 隆広さん

【佳作】(9点)

- ①「家族の絆」 スズキ労働組合 高塚支部 西條 正浩さん
- ②「親子の絆」 小楠金属・熱処理労働組合 白井 康晴さん
- ③「兄弟」 スニック労働組合 落合 聡子さん
- ④「東日本震災 救援ボランティア」 スズキ労働組合 根木 一暢さん
- ⑤「心うきうき」 スズキ労働組合 大須賀支部 袴田 保さん
- ⑥「インコの愛」 スズキ販売労働組合 自販福岡支部 木部 保夫さん
- ⑦「老犬と老鶏の絆」 スズキ労働組合 高塚支部 森脇 宗一さん
- ⑧「パンダさんにあいに行くよ」 スズキ労働組合 本部 鈴木 圭さん
- ⑨「地域の絆」 スズキ販売労働組合 自販広島支部 田岡 和子さん



佳作①



佳作②



佳作③



佳作④



佳作⑤



佳作⑥



佳作⑦



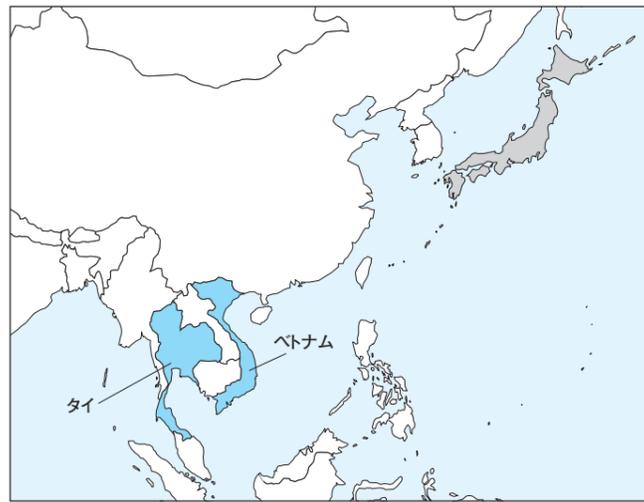
佳作⑧



佳作⑨

入選作品は、スズキ労連ブログでもご覧いただけます。

スズキ労連 第12次海外調査団 ベトナム・タイを訪問。



2012年6月3日(日)～10日(日)[8日間]、スズキ労連では4年ぶりとなる海外調査団を派遣しました。

今回の第12次海外調査団は根本事務局長を団長としてスズキ労連の各単組からの調査員と事務局を合わせ総勢13名で編成し、ベトナム・タイの2ヶ国を訪問、スズキグループや関連企業の工場にて調査を行いました。

今回の海外調査団は、スズキグループが両国において事業展開している状況を踏まえ、工場の現状・労使関係・労働環境・生活環境について調査を行ない、また実体験することにより現地駐在者や出張者の待遇改善に向けた取り組みへの足がかりを作る、また、これから海外進出する組合においては、海外出張規程や海外駐在規程などの整備に役立てることを目的としています。

調査を無事に終え、調査団一同、スズキグループの海外展開についての見識を一層深めることが出来ました。ご対応いただいた各企業の役員・駐在員の皆様には心より感謝申し上げます。

なお、調査の詳細については調査団員からの報告をまとめた報告書を冊子にして、加盟単組へ配付いたします。

第12次海外調査団 訪問企業

1. ベトナムスズキ(二輪車・四輪車の製造・販売)
2. タイスズキ(二輪車・船外機の製造・販売)
3. スズキモーター R&Dアジア(二輪車研究開発)
4. スズキ・モーター・タイランド(四輪車の製造・販売)
5. エンシュウタイランド(工作機械の製造・販売・サービス)
6. オグスタイランド(農業用、船外機用部品 製造)
7. ソンボンソミック(自動車用部品 製造)

ベトナムスズキ



訪問した各企業において、会社側と駐在員・現地採用者の働き方、生活について幅広く意見交換しました。



二輪工場の隣に建設される四輪工場建設予定地。鉄入れ式も無事に終え、2013年完成予定とのこと。

タイスズキ



まだ記憶に新しい、タイ洪水の爪あと。突貫工事でブロック塀を作り、24時間体制で隙間から漏れくる水をセメントで塞いで進入を防いだとのこと。



工場食堂です。食べたい料理を取ったらレジでお金を払います。味付けはもちろんタイ料理。日本人も同じものを食べます。

スズキ・モーター・タイランド



第12次海外調査団員とご対応頂いたスズキ・モーター・タイランド管理職の方々。(工場正面入口玄関前にて)



2012年3月より稼働開始しました。タイで大人気のスイフトを生産しています。

オグスタイランド



タイならではの天井が高い工場。暑さ対策で、天井には断熱材が張りめぐらされています。



特性要因図を用いて品質管理。品質に対する意識はかなり高いです。

2012年 スズキ労連 安全衛生研修会

スズキ労連では毎年、組合員の安全意識の高揚、加盟組合の安全活動の充実を目指して、組合役員を対象とした安全衛生研修会を実施しています。今年、安全衛生研修会は6月29日(金)、北海道苫小牧市にある「トヨタ自動車北海道」を訪問し、先方労使と安全をテーマとした意見交換、さらには安全対策の現場を視察するために工場の見学会という形で実施いたしました。

工場内にある「安全技能道場」も見学させていただきました。ここは、ただの道場ではありません。「高所作業」「酸欠」「挟まれ」「落下衝撃」「巻き込まれ」「感電」といった身近に潜む危険を疑似体験することができ、このような場を利用して徹底した安全教育を行い、「安全な職場作り」に重点をおいて生産活動を行っていました。



翌日には、トヨタ自動車北海道労働組合結成20周年行事を控えていたにもかかわらず、ご対応いただきました。本当にありがとうございました。



「安全技能道場」での教育による災害減少の効果・意識の変化、恒常的に行っている他の安全活動について活発に意見交換を実施。今後に活かすべく貴重なお話を伺うことが出来ました。

スズキ販売労働組合

『自販沖縄支部』組合結成!!

足掛け7年、直営販社最後の組合結成!

2012年6月7日(木)、沖縄コンベンションセンターにおいて、『スズキ販売労働組合 自販沖縄支部』の結成大会が開催されました。スズキ販売労組としては51番目の支部結成となり、新たに127人の仲間がスズキ労連に加わりました。



結成大会では組合の「綱領」「規約」が確認された後、今後の活動の基本となる「支部運動方針」「支部活動計画・予算」が審議され、満場の一致の大拍手で承認されました。その後、自販沖縄支部 山田支部執行委員長に支部旗が授与され、組合員の皆さんに披露されました。

スズキグループの一体化と会社の活性化を目指すという強い信念のもと、2005年から地道に続けてきた直営販社への理解活動が7年という歳月を経て販労の全国組織化が実現し、一区切りとなりました。これまでにご協力いただいた組合員の皆さまに、深く感謝申し上げます。スズキ労連では、今後も、さらに仲間の輪を広げるべく活動を進めてまいります。



連合『2012平和行動in沖縄』

「願う」平和から「叶える」平和へ つながろうNIPPON!



毎年6月23日は、沖縄県慰霊の日として沖縄県主催の「沖縄全戦没者追悼式」が開催されます。これにあわせて、連合では23日から24日にかけて平和行動を実施しています。沖縄が本土復帰40周年を迎えた今年の『平和行動in沖縄』には全国から1,420人が参集し、スズキ労連からは佐藤中執(ベルソニカ)、堀 副事務局長の2名が平和式典とピースフィールドワークに参加しました。

平和集会は6月23日(土)、那覇市民会館・大ホールに於いて、二部構成で開催されました。

第一部では政策研究大学院(GRIPS)の道下徳成 准教授より「変わりゆくアジア情勢と日本の対応」をテーマに講演をいただきました。国際情勢を把握し、チャンスとリスクを見極めたうえで、どう防衛し、何をすべきなのか、共通認識を正しくもって合理的な議論を進めることが、平和を実現する第一歩となると述べられていました。

続く第二部の平和式典では、連合・古賀伸明会長より、「米軍基地を抱える地域の負担について、国民全体が理解していなければならない。本土復帰40周年の記念となる本集會を通じ、沖縄県をはじめ、日本が抱えている基地問題や安全保障問題について、参加者全員で共有する貴重な機会としたい。」と代表挨拶がありました。その後、「平和メッセージ」「ピースリレー」と続き、最後の「平和アピール」では、日米地位協定の抜本的見直し要求と、最近話題の垂直離着陸機「オスプレイ」の安全性に触れた内容でアピールを行い、満場一致で採択されました。

翌日の24日(日)は、連合沖縄青年委員会の皆さまのガイドにより、「ピースフィールドワーク」に参加。沖縄にある米軍基地(嘉手納・普天間)と普天間基地移設予定地(辺野古)、沖縄戦の上陸地点となった渡具知ビーチ、悲惨な集団死があったチビチリガマを訪問し、沖縄の現状と歴史を学びました。



「道の駅かたな」から見下ろす「嘉手納基地」、近くには学校があります。



今では多くの海水浴客が訪れる「渡具知ビーチ」、67年前にはここから米軍が大挙して沖縄に上陸した。



「嘉数高台公園」からは「普天間基地」が一望できる。基地を取り囲むように住宅が建っているのがよく分かります。